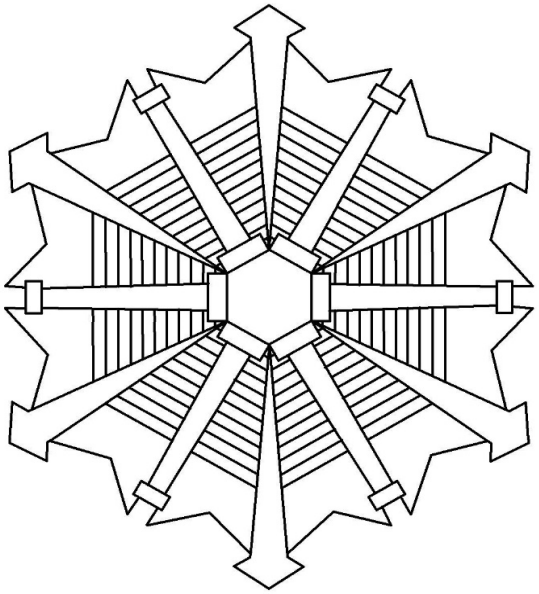
消 防 年 報

令和６年度



檜山広域行政組合

今 金 消 防 署

今 金 町 消 防 団

はじめに

１．この年報は、令和６年中に檜山広域行政組合今金消防署・今金町消防団の消防行政の実態を紹介するとともに、今後の火災予防の資料とすることを目的として編集したものです。

２．本年報が執務上の参考となるばかりでなく、地域住民の防火に対する指針の参考となれば幸いと存じます。

令和　７年　６月

檜山広域行政組合今金消防署

目　　次

今金町消防の沿革と概要 …… 1

今金町消防団歴代団長 …… 8

今金町消防団表彰歴 …… 9

叙勲褒章及び個人表彰歴 …… １０
- １．叙勲褒章
- ２．消防庁長官表彰
- ３．日本消防協会定例表彰
- ４．北海道消防表彰
- ５．消防功労者総務大臣表彰

位置及び消防機関の配置図 …… １３

町勢 …… １４
- １．広ぼう面積
- ２．人口の推移
- ３．人口世帯数
- ４．消防予算

消防組織機構 …… １５

消防職員 …… １６
- １．職員の配置数
- ２．職員の勤続経験年数
- ３．職員の年齢
- ４．職員の免許資格取得状況
- ５．職員の消防学校派遣教育状況

消防団員 …… １８
- １．定数及び実員
- ２．団員の配置
- ３．団員の勤続年数
- ４．団員の年齢
- ５．団員の職業別

消防施設概要 …… ２０
- １．消防庁舎及び器具置場、車庫
- ２．消防水利の現況
- ３．通信施設

４．消火薬剤及び油処理剤等保有状況
５．消防用ホース保有状況
６．無線呼出し名称
７．消防・救助活動のための機械器具保有状況
８．救急活動のための資器材保有状況
９．消防自動車及び小型ポンプ現有状況

消防活動状況 …… ２６

火災統計 …… ２７
１．火災概況
２．過去５年間の火災発生状況
３．過去５年間の原因別火災発生状況
４．火災発生状況

救急統計 …… ３０
１．過去５年間の事故種別出動件数
２．時間別救急出動件数
３．現場到着所要時間別救急出動件数
４．収容所要時間別救急搬送人員
５．管内・管外別搬送人員
６．発生場所別搬送人員
７．事故種別不搬送理由別不搬送件数
８．病院別転院搬送件数
９．ドクターヘリ要請件数
１０．年齢別・傷病別搬送人員
１１．月別・事故種別出動件数
１２．曜日別救急出動件数

予防活動 …… ３６
１．事務処理状況
２．指定防火対象物数
３．用途別、月別建築同意状況
４．工事別、月別建築同意状況
５．指定防火対象物立入検査実施状況
６．一般家庭防火査察実施状況
７．危険物製造所等の分布状況
８．危険物施設立入検査実施状況
９．消防協力団体の概況

今金町のおもな火災 …… ４５

今金町消防の沿革と概要

今金町消防の沿革と概要

明治43年12月　公設消防組創設（利別消防組が設置）同年６月腕用ポンプ１台を配置
大正 2年　珍古辺消防団発足し、番屋を設置
14年 5月　手引動力ポンプ１台を配置
昭和 6年11月　消防ポンプ自動車１台を配置
腕用ポンプ１台を配置（花石）
8年 5月　公設花石消防組（組頭１名、小頭２名、消防手３０名制定）を設立
14年 4月　利別村警防団設置、今金、種川、花石の３分団制となる
種川、花石の分団に腕用ポンプ各１台配置
22年 6月　今金消防団設置条例制定（団長１名、副団長１名、分団長３名、部長１２名、班長１５名、その他団員１２８名）
7月　消防団給与条例制定、消防団員服務規律及び懲戒条例設定
8月　利別村警防団を今金消防団に改編、今金、種川、花石の３分団制を施行
10月　町制施行と同時に町名変更により利別村を今金町と改称
12月　今金消防団本部並びに今金分団庁舎トタン葺２階建新設
23年11月　今金消防団を、今金消防団、種川消防団、花石消防団に改編３消防団体制を施行
12月　花石消防団庁舎トタン葺２階建新築
24年 4月　今金町消防団員服務条例を設定
5月　今金消防団に常備員（消防士）４名を配置
7月　消防ポンプ自動車１台を今金消防団に配置
25年 9月　今金消防団、第１回北海道消防技能競技大会ポンプ車の部に出場
26年 7月　今金消防団、第２回北海道消防技能競技大会ポンプ車の部に出場
29年 2月　今金町火災予防条例を設定
今金消防条例を廃止する
4月　小型動力ポンプ１台を種川消防団に配置
30年 1月　消防ポンプ自動車１台、小型動力ポンプ１台を今金消防団に配置
31年11月　今金消防団本部庁舎を都市計画の為、トタン葺２階建を移転・改築する
32年 4月　今金消防団と種川消防団、花石消防団を合併、今金町消防団とし今金分団種川分団、花石分団の３分団制を施行
33年 4月　今金分団並びに花石分団に、小型動力ポンプ１台を配置
38年12月　消防ポンプ自動車１台を今金分団に配置
39年10月　消防ポンプ自動車１台を種川分団に配置
40年 9月　小型動力ポンプ１台を花石分団に配置
41年 9月　消防ポンプ自動車１台を今金分団に配置
11月　今金町消防団の設置等に関する条例を制定
今金町消防団の定数、任免、服務に関する条例を設定（定数１７３名）

昭和42年 4月　今金町婦人防火クラブが結成される
43年 1月　今金町消防団の定数、任免、服務等に関する条例を一部改正する（定数１９８名）
44年 7月　美利河地区に、美利河分団を設置し小型動力ポンプ１台を配置し４分団制を施行
45年 8月　小型動力ポンプ１台を種川分団に配置
48年 4月　今金町消防団に消防常備員２名増員し、６名を配置
12月　救急自動車を日本自動車工業会より寄贈を受ける
49年 4月　檜山広域消防組合の設立に伴い定員１３名をもって今金支署を設置、今金町消防団を同組合今金町消防団に改称
8月　今金分団地区（緑町、開発官舎前）に井戸式消火栓１基新設
今金支署、今金町消防庁舎鉄筋コンクリート造り２階建新築
今金分団地区（栄町、消防庁舎前）に井戸式消火栓１基新設
9月　消防用連絡車を女屋儀八氏より寄贈を受ける
超短波無線電話装置(基地局、移動局)等を設置
50年 9月　今金分団地区（南町、伊藤精米所前）に井戸式消火栓１基新設
10月　水槽付消防ポンプ自動車(イスズ)１台を今金支署に配置
51年 9月　小型動力ポンプ付積載車(トヨタ)１台を花石分団に配置
今金分団地区（商工団地）に井戸式消火栓１基新設
52年 7月　北海道消防操法訓練大会ポンプ車操法の部に出場
9月　小型動力ポンプ付積載車(トヨタ)１台を美利河分団に配置
今金分団地区（高美町、総合体育館裏）に井戸式消火栓１基新設
53年 3月　積載車１台を今金分団に配置
11月　今金分団地区（大和町、土木現業所今金出張所前）に井戸式消火栓１基新設
12月　消防ポンプ自動車(イスズ)１台を今金分団に配置
54年 9月　消防ポンプ自動車（ニッサン ジープ型）１台を種川分団に配置
今金分団地区（南町）の防火貯水槽１基廃止
今金分団地区（御影地区）に防火貯水槽１基新設
10月　今金分団地区（末広町、劇場裏）に井戸式消火栓１基新設
12月　種川分団自動車格納庫新設
55年 9月　花石分団地区に防火貯水槽１基新設
11月　小型動力ポンプ１台を種川分団に配置
12月　今金分団地区（今金町統合中学校入口）に消火栓１基新設
56年 2月　今金分団地区（今金町統合中学校西側）に井戸式消火栓１基新設
5月　美利河分団を廃止し、花石分団に統合する
9月　花石分団美利河地区内に防火貯水槽１基新設
10月　花石分団自動車格納庫（81.98 ㎡ ）を新設

昭和56年10月　花石分団美利河地区内に自動車格納庫（74.529㎡）を新設
57年 3月　小型動力ポンプ（ラビット）１台を花石分団に配置
4月　今金町消防団の各分団名称を変更し、今金分団を第１分団、種川分団を第２分団、花石分団を第３分団と改称する
各地区の婦人防火クラブを統合し、今金町婦人防火クラブとし各地区に支部を置く
6月　小型動力ポンプ（ラビット）１台を第１分団に配備
8月　第２分団（種川地区）に防火貯水槽１基新設
9月　第３分団（美利河地区）に防火貯水槽１基新設
今金町婦人防火クラブ日進支部に可搬式消防ポンプ（ラビットＰ２０型）１台を日本消防協会より寄贈を受ける
10月　救急自動車(ニッサン キャラバン　２Ｂ型)を更新
58年 8月　第１分団に小型動力ポンプ（ラビット）１台を配備
11月　第１分団に消防ポンプ自動車（イスズ）１台を配置
12月　第１分団（南栄町）に防火貯水槽１基新設
（金原地区）に消火栓１基新設
59年 9月　第１分団（大和町、旧クレードル前）に防火貯水槽１基新設
（豊田、金原地区）に消火栓４基新設
10月　第１分団（八束地区）に防火貯水槽１基新設
12月　第１分団に小型動力ポンプ（ラビット）１台を配備
第２分団（稲穂地区）に消火栓１基新設
60年 3月　指令車（スバル レオーネツーリングワゴン1,800cc ）を配置
6月　携帯無線（東洋通信ＴＴＲ－１５ＧＩ型）１基を購入
8月　第１分団（金原小学校前）に防火貯水槽１基新設
9月　第１分団（寒昇農協倉庫前）に防火貯水槽１基新設
10月　第１分団（豊田地区）に消火栓２基新設
11月　第１分団（大和町、国保病院前）に防火貯水槽（60㎥ 級）１基新設
61年 2月　今金支署に無線サイレン遠隔吹鳴装置設置
3月　第１分団の井戸式消火栓１２基を消防力の基準外とする（放水水量が不足のため）
8月　第１分団（栄町、クボタ農機前）に防火貯水槽１基新設
10月　今金支署に大型水槽車格納庫を新築
11月　大型水槽車（イスズ）を配置
62年 4月　職員定数１３名から１４名に変更
8月　第１分団（日の出町、商工団地）に防火貯水槽を各１基新設
12月　第１分団（八束地区）に消火栓１６基新設
63年 4月　職員定数１４名から１５名に変更
7月　北海道消防操法訓練大会ポンプ車操法の部に出場

昭和63年10月　第１分団（寒昇、共済組合東側）に防火貯水槽１基新設
11月　第２分団に消火栓３基新設
12月　今金支署（大和町）に無線サイレン吹鳴装置及び拡声装置増設
平成元年 3月　携帯無線（東洋通信ＴＴＲ－１５Ｍ４）４基を購入
4月　職員定数１５名から１６名に変更
9月　第１分団（曙町、山一運輸前）に防火貯水槽１基新設
第１分団（神丘地区）に消火栓２基新設
今金支署（曙町）に無線サイレン吹鳴装置及び拡声装置増設
2年 5月　携帯無線（東洋通信ＴＴＲ－１５Ｍ４）２基を購入
2年 7月　組合機構改革による名称変更
（檜山広域消防組合を檜山広域行政組合に改め、今金支署を今金消防署と改める）
9月　第１分団（緑町、星建設作業場前）に防火貯水槽１基新設
第２分団（種川小学校前防火水槽及び消火栓）道路拡張に伴い移転
第３分団（美利河地区）サイレン塔立て替え
10月　第１分団（神丘地区）に消火栓２基新設
地域防災情報通報システム、日進中継局新設及び第３分団(花石無線地区)に無線サイレン吹鳴装置、拡声装置新設
11月　救急自動車（トヨタ　ハイエース４WD　２Ｂ型）に更新
3年 7月　第１分団（末広町、旧線路地）に防火水槽１基新設
第３分団（美利河地区、クアプラザピリカ入口）に防火水槽１基新設
8月　第１分団（神丘地区）に消火栓２基新設
地域防災情報通報システム、第２分団（種川地区）に拡声装置新設、第３分団（美利河地区）に無線サイレン吹鳴装置、拡声装置新設
9月　第３分団（クアプラザピリカ）に消火栓１基新設
（プール水使用）
4年 3月　水槽付消防ポンプ自動車（イスズ）更新
7月　第２分団（種川地区）に防火水槽１基新設
8月　第１分団（白石地区）に防火水槽１基新設
10月　第１分団（今金町物産会館横）に防火水槽（80ﾄﾝ級）１基新設
12月　地域防災情報通報システム、第３分団（中里地区）に無線サイレン吹鳴装置及び拡声装置新設
ホース乾燥及び訓練塔併用火の見櫓（18m）立て替え
5年 2月　第３分団小型動力ポンプ付積載車
（三菱　ダブルキャブ４WD　Ｂ２積載）更新
4月　職員定数１６名から２０名へ変更
6月　訓練用補助塔新設

平成 5年 9月　地域防災情報通報システム、第２分団（下種川地区）に無線サイレン装置及び拡声装置新設
10月　第１分団（東町、農協駐車場）に防火水槽１基新設
12月　大型水槽車（三菱 Ｕ－ＦＶ４１６ＪＤ）更新
6年 9月　第３分団小型動力ポンプ付積載車（美利河）
（三菱 ダブルキャブ４ＷＤ　Ｂ２積載）更新
11月　第１分団（トマンケシ地区）に防火水槽１基新設
第２分団（種川地区）に防火水槽１基新設
12月　第２分団（種川地区）に消火栓１基新設
7年 8月　第２分団（種川地区）に防火水槽１基新設
11月　消防無線移動局整備工事
指令車（トヨタ ハイエース４ＷＤ）を更新
第２分団（種川地区）に消火栓３基新設
12月　第２分団格納庫改修工事
8年 3月　第１分団消防ポンプ自動車（イスズ）更新
（油圧救助機具「ウェーバー」積載）
8月　連絡車（三菱 パジェロＪｒ４ＷＤ）を配置
9月　北海道少年婦人防火協議会より今金町婦人防火クラブに対し表彰状が授与される
10月　第１分団（大和町、旧中学校跡地）に防火水槽１基新設
11月　第２分団（種川、住吉地区）に消火栓２基新設
12月　第１分団（寒昇、高等養護学校入口）に消火栓１基新設
9年12月　第１分団（寒昇、高等養護学校東側）に消火栓１基新設
（寒昇、高等養護学校前道路向かい側）に消火栓２基新設
第２分団（住吉地区）に消火栓１基新設
10年 1月　第２分団小型動力ポンプ付積載車
（三菱 ダブルキャブ４ＷＤ　Ｂ２積載）更新
2月　消防庁舎前モーターサイレン（阪国製１０馬力ステンレス製）更新
7月　第１分団（３．４．２利別通）に消火栓２基新設
救急自動車（トヨタ ハイエース４ＷＤ　２Ｂ型）を更新
10月　第３分団（花石地区）に消火栓１基新設
11年 9月　第１分団（御影、小原宅前）に消火栓１基新設
（南豊受会館横）に消火栓１基設置
第３分団（中里地区）に消火栓１基設置
12月　第１分団（南通西側）に消火栓１基設置
（南通東側）に消火栓１基設置
第１分団消防ポンプ自動車（イスズ）更新
12年 9月　第３分団花石分遣所前モーターサイレン（阪国製）更新

平成12年11月　第１分団（本町、町民センター裏）に消火栓１基新設
（田代地区）に消火栓１基新設
第２分団（種川地区）に消火栓１基新設
第３分団（花石地区）に消火栓１基新設
12月　大型水槽車（イスズ　ＫＬ－ＣＹＺ８１Ｑ３）を配置
第１分団（御影、下本宅横）に消火栓１基新設
13年 7月　北海道消防操法訓練大会ポンプ車操法の部に出場
9月　第１分団（大和町、大和団地南側）に消火栓１基新設
（南町、道々南通松村康弘宅向）に消火栓１基新設
第３分団（宮島、大平悦郎宅前）に消火栓１基新設
10月　第１分団（南町、道々南通藤倉光義宅前）に消火栓１基新設
11月　第１分団総合体育館裏モーターサイレン（阪国製）更新
14年 6月　第１分団(栄町、消防敷地内庁舎前)に消火栓１基新設
12月　第２分団(稲穂、佐々木水産手前)に消火栓１基新設
（稲穂、橘清一宅前)に消火栓１基新設
15年 9月　救急自動車（トヨタ グランビア４ＷＤ）をＪＡ共済連より寄贈を受ける
16年11月　第１分団（曙町、小学校プール前より曙団地Ｄ棟裏）に消火栓を移転
17年 2月　消防団員安全装備品整備等助成事業により反射チョッキ購入
6月　第１分団（緑町、高齢者単身住宅横）に消火栓１基新設
12月　サイレン遠隔吹鳴システム改修工事及び拡声装置３ヶ所（御影、寒昇、トマンケシ）新設
18年 2月　消防団員安全装備品整備等助成事業により反射チョッキ及び発電機・投光器一式購入
5月　二相性自動体外式除細動器一式購入
19年10月　指令車（ニッサン キャラバン４ＷＤ）を更新
第１分団（高美町、川合宅横より谷宅横）に消火栓を移転
20年 3月　消防団員安全装備品整備等助成事業によりヘッドアップライト購入
10月　第１分団（八幡町、旧滝テント店前）防火水槽を廃止
11月　第１分団（寒昇、あったからんど横、町分譲地内）に消火栓１基新設
21年 6月　消防庁舎裏に簡易車庫を新設
7月　連絡車（スズキ エブリイ軽４ＷＤ）を更新
9月　ふるさと消防団活性化助成事業により救命処置シミュレーター一式購入
22年11月　第３分団小型動力ポンプ付積載車（美利河）を第１分団(３班車)として配置移動
12月　二相性自動体外式除細動器一式購入
23年 1月　今金消防発足１００周年を記念して祝賀会を開催
4月　第３分団を第２分団に統合し、２分団制を施行

平成24年10月　救急自動車を高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック４WD）に更新（救急１）

25年 7月　北海道消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部に出場

26年 4月　職員定数２０名から２１名へ変更

5月　第１分団小型ポンプ（トーハツ ＶＦ６３ＡＳ）を更新

7月　コミュニティ助成事業により今金町婦人防火クラブに聴覚用器材一式を購入

27年11月　消防団員安全装備品整備等助成事業により消防団員用雨衣購入

28年 3月　消防救急デジタル無線設備を新設、運用開始

29年 3月　救急自動車（トヨタ　ハイエース４WD）をＪＡ共済連より寄贈を受け高規格救急自動車として更新（救急２）

30年 3月　水槽付消防ポンプ自動車（日野　プロフィア）を更新。緊急消防援助隊消火小隊に登録（タンク車）

令和 2年 9月　消防団救助能力向上資機材緊急整備事業により自動体外式除細動器、発電機及び投光器購入

10月　指令車（トヨタ ハイエース４WD）を更新

11月　滅菌室設置（新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金）

3年 7月　第２分団小型ポンプ（トーハツ ＶＥ２０Ａ）を更新

4年 8月　第７４回北海道消防大会を今金町総合体育館「あいきゅーぶ」にて開催

第２分団小型ポンプ（トーハツ ＶＥ２０ＡＳ）を更新

9月　第２分団種川格納庫前モーターサイレン（阪国製）更新

5年 1月　消防団活動車（三菱　エクリプスクロス）を日本消防協会より交付を受ける（指令２車）

2月　連絡車（スズキ エブリイ軽４WD）を第２分団(花石車)として配置移動

3月　運搬車（ダイハツ ハイゼットトラック 多目的ダンプ）を配置

今 金 町 消 防 団 歴 代 団 長

今金町消防団歴代団長

歴　代	階　級	氏　　名	任命年月日	退団年月日
初　代	組　頭	野　本　矩　正	M 43. 12. 7	不　明
二　代	〃	黒　須　満　吉	不　明	〃
三　代	〃	野　本　矩　正	〃	〃
四　代	〃	佐々木　酉　蔵	T 6.	T 9. 6. 30
五　代	〃	今　村　藤次郎	T 9. 7. 1	T 10. 10. 31
六　代	〃	野　本　矩　重	T 10. 11. 1	T 13. 1. 17
七　代	〃	鳴　海　豊次郎	T 13. 1. 29	T 14. 6. 25
八　代	〃	浅　野　仁　吉	T 14. 7. 30	S 4. 2.
九　代	〃	大　崎　金　作	S 4. 2. 26	S 5. 10.
十　代	〃	野　本　矩　重	S 5. 10. 9	S 11. 4. 30
十一代	消防団長	大和谷金太郎	S 11. 5. 1	S 18. 5.
十二代	〃	赤　川　寅之助	S 18. 5. 28	S 22. 8.
十三代	〃	狭　間　新　平	S 22. 8. 15	S 24. 1. 5
十四代	〃	柳　　力　松	S 24. 1. 6	S 28. 2. 22
十五代	〃	辻　　理	S 28. 5. 28	S 31. 4. 20
十六代	〃	内　藤　重　蔵	S 31. 4. 21	S 50. 8. 20
十七代	〃	多　田　貞太郎	S 50. 8. 24	S 55. 4. 2
十八代	〃	及　川　　良	S 55. 4. 25	H 2. 5. 31
十九代	〃	河　村　昭　夫	H 2. 6. 1	H 10. 5. 31
二十代	〃	青　木　　隆	H 10. 6. 1	H 13. 11. 25
二十一代	〃	田　中　義　雄	H 13. 12. 17	H 19. 3. 31
二十二代	〃	山　田　　悟	H 19. 4. 1	現　在

今　金　町　消　防　団　表　彰　歴

今金町消防団表彰歴

昭和25年 9月15日	北海道知事から、第１回北海道消防技能競技大会において、優秀な成績により賞状が授与された。
昭和26年 7月20日	北海道知事から、第２回北海道消防技能競技大会において、優秀な成績により、記念品と賞状が授与された。
昭和33年12月25日	函館方面江差警察署長から、人命救助により表彰状が授与された。
昭和34年 5月17日	北海道消防協会長より、消防団の使命達成について（人命救助）表彰状が授与された。
昭和38年12月 1日	北海道知事から、台風による水害に職責を遂行し、水防活動に顕動に顕著な成績を挙げた功労に対し、表彰状が授与された。
昭和43年 9月 3日	北海道消防協会長より、竿頭綬が授与された。
昭和50年 6月26日	北海道消防協会長より、表彰旗が授与された。
昭和52年 7月22日	北海道知事から、北海道消防操法訓練大会ポンプ車操法の部において、優秀な成績により、表彰状が授与された。
昭和53年 3月 7日	日本消防協会長より、竿頭綬が授与された。
昭和63年 7月29日	北海道知事から、北海道消防操法訓練大会ポンプ車操法の部において、優秀な成績により、表彰状が授与された。
平成 8年11月22日	北海道知事より、竿頭綬が授与された。
平成13年 7月26日	北海道消防協会々長から、北海道消防操法訓練大会ポンプ車操法の部において、優良賞が授与された。
平成16年 3月 4日	消防庁長官より、竿頭綬が授与された。
平成23年 3月 3日	消防庁長官より、表彰旗が授与された。
平成23年 6月26日	北海道消防協会檜山地方支部長より、竿頭緩が授与された。
平成25年 7月19日	北海道消防協会々長から、北海道消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部において、優良賞が授与された。
令和 4年 8月27日	北海道消防協会より、表彰旗が授与された。

叙 勲 褒 章 及 び 個 人 表 彰 歴

1. 叙勲褒章
2. 消防庁長官表彰
3. 日本消防協会定例表彰
4. 北海道消防表彰
5. 消防功労者総務大臣表彰

叙勲褒章及び個人表彰歴

（R7．3.31現在）

１．叙勲褒章

叙勲年	元職責	氏名	受勲名
昭和４４年	副分団長	加藤春吉	勲七等瑞宝章
昭和４８年	副団長	西田丑蔵	勲六等単光旭日章
昭和４９年	団長	内藤重蔵	勲六等単光旭日章
昭和５２年	副団長	阿部正夫	勲六等瑞宝章
昭和５３年	副分団長	奥原留治	勲七等青色桐葉章
昭和５５年	分団長	梅村松次郎	勲七等旭日章
昭和５５年	団長	多田貞太郎	勲六等瑞宝章
昭和５８年	副分団長	早坂悦次郎	勲七等青色桐葉章
平成２年	副団長	篠田正喜	勲六等単光旭日章
平成２年	分団長	山石哲雄	勲六等瑞宝章
平成４年	分団長	安達一夫	勲六等瑞宝章
平成５年	副団長	山口義信	勲六等単光旭日章
平成７年	分団長	緒方一雄	勲六等瑞宝章
平成１０年	副団長	安達芳雄	勲六等単光旭日章
平成１１年	団長	河村昭夫	勲五等双光旭日章
平成１３年	団長	青木隆	勲六等単光旭日章
平成１４年	分団長	栗山幸雄	勲六等瑞宝章
平成１４年	副団長	久保田一夫	勲六等単光旭日章
平成１７年	部長	遠藤英太郎	瑞宝単光章
平成１７年	署長	芳賀鈴夫	瑞宝双光章
平成１８年	副団長	佐々木康夫	瑞宝単光章
平成１９年	分団長	千葉務	瑞宝単光章
平成２０年	団長	田中義雄	瑞宝双光章
平成２２年	副団長	田中繁	瑞宝単光章
平成２４年	分団長	高木正行	瑞宝単光章
平成２６年	署長	小池勝利	瑞宝単光章
平成２７年	署長	髙田俊彦	瑞宝単光章
平成２８年	分団長	小岩高慶	瑞宝単光章
平成３０年	分団長	藤川治喜	瑞宝単光章
平成３１年	分団長	長崎貞	瑞宝単光章
令和元年	副団長	佐藤進	瑞宝単光章
令和元年	署長	山口昭則	瑞宝双光章
令和２年	分団長	原口良一	瑞宝単光章
令和２年	主幹	川崎正美	瑞宝単光章
令和３年	分団長	上田富男	瑞宝単光章
令和３年	分団長	村上隆文	瑞宝単光章
令和６年	分団長	藤倉久雄	瑞宝単光章

２．消防庁長官表彰

授与年月日	職責	氏名	受章名
昭和５６年３月４日	副団長	篠田正喜	永年勤続功労章
昭和５７年３月３日	副団長	河村昭夫	永年勤続功労章
昭和５８年３月２日	分団長	山石哲雄	永年勤続功労章
昭和５９年３月９日	分団長	栗山幸雄	永年勤続功労章
平成　元年３月６日	分団長	山口義信	永年勤続功労章
平成　２年３月８日	団長	及川良	永年勤続功労章
平成　３年３月６日	副団長	安達芳雄	永年勤続功労章
平成　３年３月６日	副団長	本田一三	永年勤続功労章
平成　４年３月４日	分団長	緒方一雄	永年勤続功労章
平成　５年３月３日	署長	芳賀鈴夫	永年勤続功労章
平成　８年３月６日	副団長	久保田一夫	永年勤続功労章
平成　９年３月５日	団長	河村昭夫	功労章
平成　９年３月５日	分団長	田中義雄	永年勤続功労章
平成１０年３月７日	班長	矢内孝仁	永年勤続功労章
平成１１年３月５日	部長	遠藤英太郎	永年勤続功労章
平成１３年３月８日	団長	青木隆	永年勤続功労章
平成１４年３月６日	分団長	千葉務	永年勤続功労章
平成１５年３月５日	副団長	田中繁	永年勤続功労章
平成１６年３月４日	副団長	佐々木康夫	永年勤続功労章
平成１８年３月３日	分団長	高木正行	永年勤続功労章
平成１９年３月２日	副分団長	安達賢	永年勤続功労章
平成２０年３月７日	分団長	小岩高慶	永年勤続功労章
平成２１年３月６日	団長	山田悟	永年勤続功労章
平成２３年３月３日	分団長	藤川治喜	永年勤続功労章
平成２４年３月８日	分団長	原口良一	永年勤続功労章
平成２５年３月６日	分団長	上田富男	永年勤続功労章
平成２６年３月５日	署長	山口昭則	永年勤続功労章
平成２６年３月５日	副団長	佐藤修一	永年勤続功労章
平成２８年３月９日	団長	山田悟	功労章
平成２９年３月８日	副団長	佐藤進	永年勤続功労章
平成３１年３月６日	分団長	村上隆文	永年勤続功労章
令和　４年３月２日	分団長	藤倉久雄	永年勤続功労章
令和　６年３月４日	副団長	佐々木照幸	永年勤続功労章
令和　７年３月５日	分団長	藤倉正明	永年勤続功労章

３．日本消防協会定例表彰

授与年月日	職責	氏名	受章名
昭和５９年　２月１０日	団長	及川　良	精績章
平成　４年　２月１３日	団長	河村昭夫	精績章
平成　４年　２月１３日	副団長	山口義信	精績章
平成　５年　２月１６日	副団長	本田一三	精績章
平成　６年　２月１５日	副団長	安達芳雄	精績章
平成　７年　２月１０日	団長	河村昭夫	功績章
平成１４年　２月　８日	団長	田中義雄	精績章
平成１６年　２月１３日	副団長	田中　繁	精績章
平成１９年　２月　８日	団長	田中義雄	功績章
平成１９年　２月　８日	分団長	高木正行	精績章
平成２０年　３月　７日	副団長	田中　繁	功績章
平成２５年　２月２６日	団長	山田　悟	精績章
平成２７年　３月１０日	主幹	末廣幸弘	精績章
平成２８年　３月　８日	団長	山田　悟	功績章
平成２９年　３月　７日	副団長	佐藤修一	精績章
令和　２年　３月　３日	副団長	佐藤修一	功績章
令和　７年　３月　７日	署長	佐々木裕市	精績章
令和　７年　３月　７日	副団長	佐々木照幸	精績章

４．北海道消防表彰

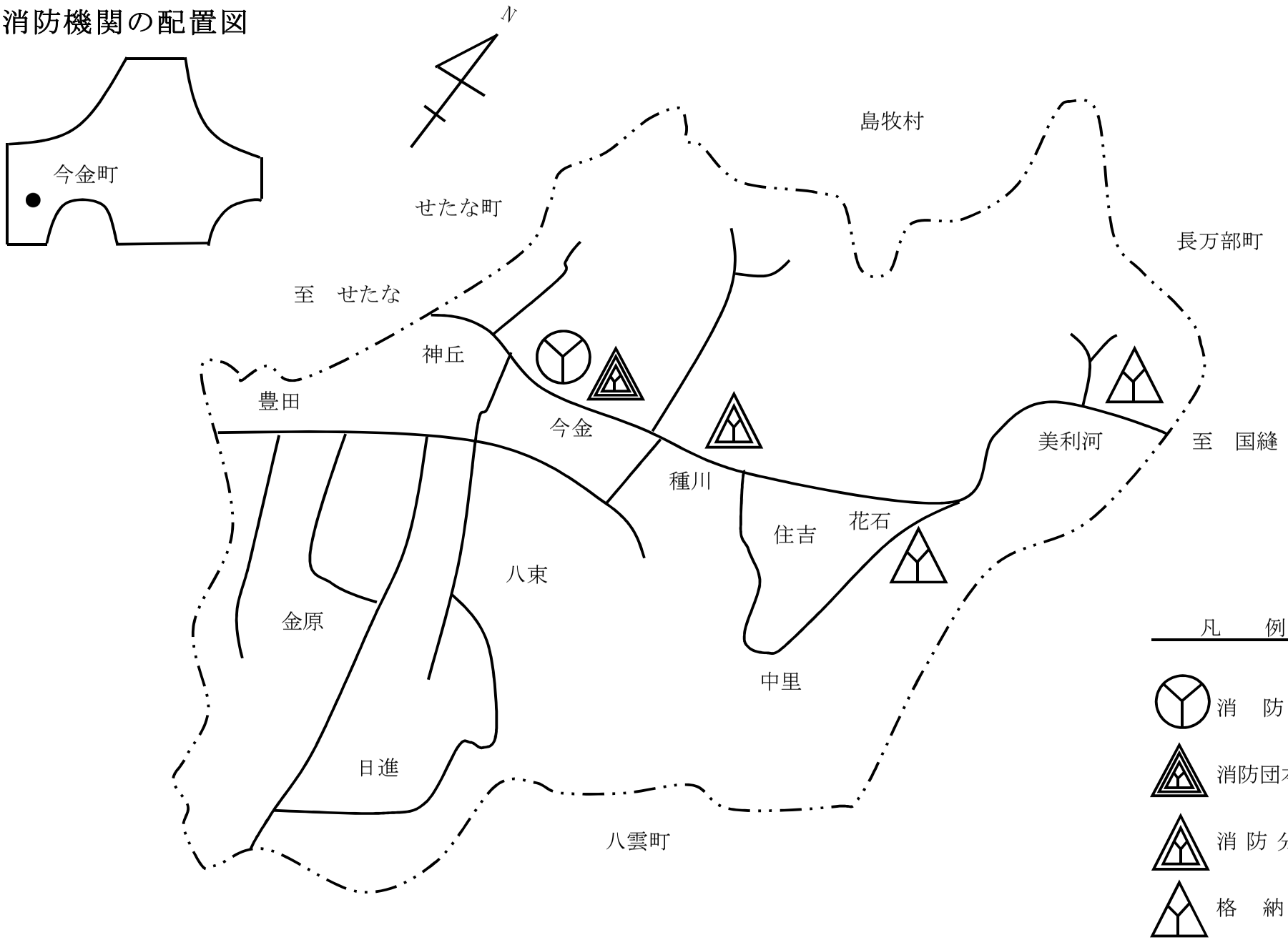
授与年月日	職責	氏名	受章名
平成１４年１１月１４日	団長	田中義雄	功労章
平成３０年１１月２０日	副団長	佐藤修一	功労章

５．消防功労者総務大臣表彰

授与年月日	職責	氏名
令和５年７月１８日	団長	山田　悟

位置及び消防機関の配置図

位置及び消防機関の配置図



町　　勢

１．広ぼう面積
２．人口の推移
３．人口世帯数
４．消防予算

町 勢

１．広ぼう面積

面　　積	広　ぼ　う	経　緯　度
５６８．２５㎢	東西　２７．５㎞	東経　１４０度　００分　０６秒
	南北　３５．３㎞	北緯　　４２度　２５分　５０秒

２．人口の推移

（各年12.31現在）

年別	世帯数	人口		
		男	女	計
令 和　２ 年	２，４９７	２，４１８	２，６３６	５，０５４
令 和　３ 年	２，４９０	２，３７４	２，５８９	４，９６３
令 和　４ 年	２，４２４	２，２９６	２，４７９	４，７７５
令 和　５ 年	２，３８７	２，２３０	２，３９３	４，６２３
令 和　６ 年	２，３４１	２，１４７	２，２９７	４，４４４

３．人口世帯数

（R7．3.31現在）

項　目 調査年	世帯数	人口		
		男	女	計
令 和 ６ 年 度	２，３０９	２，１０８	２，２８１	４，３８９

４．消防予算

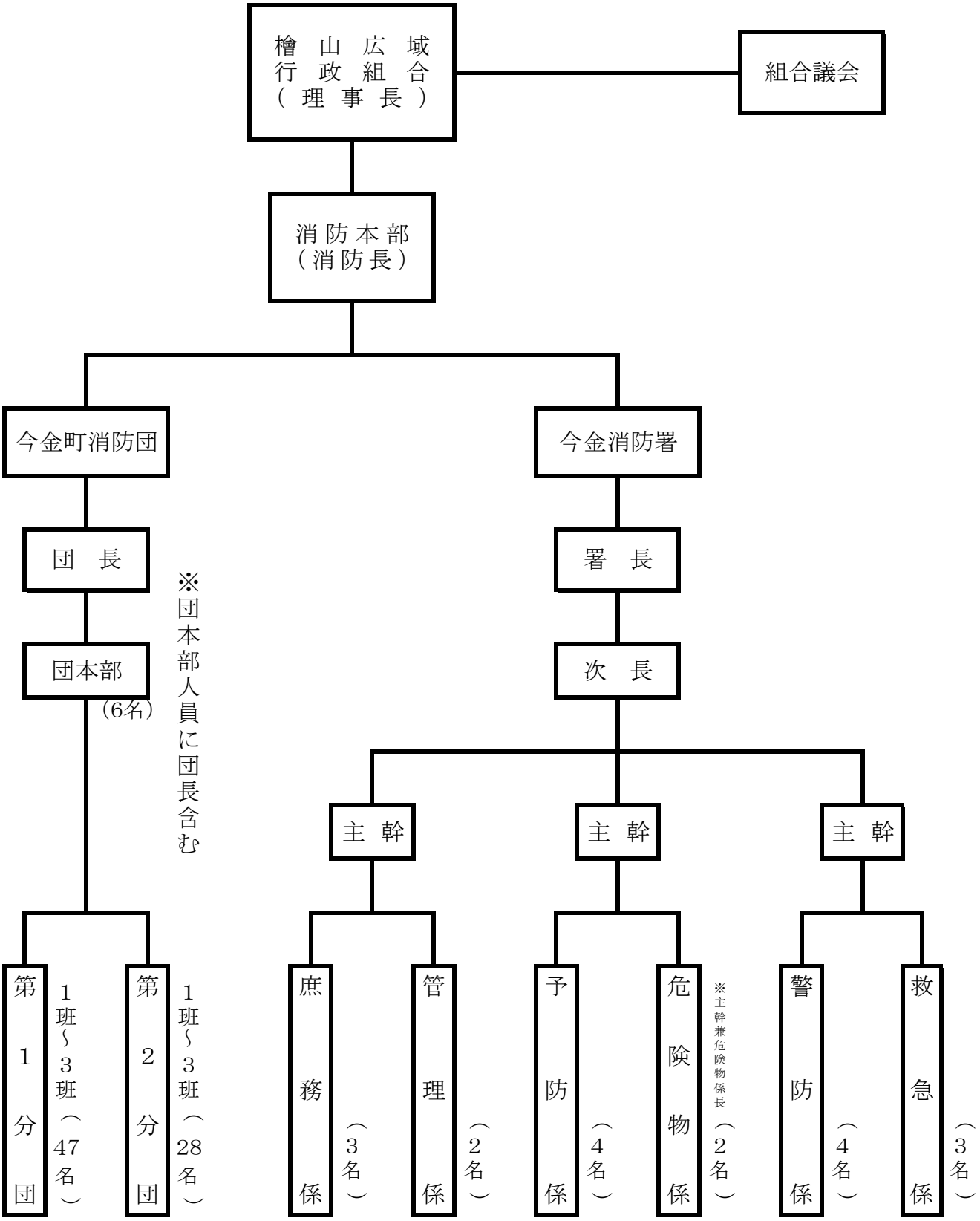
（各年 3.31現在）

年度別 項　目	令和３年度 （千円）	令和４年度 （千円）	令和５年度 （千円）	令和６年度 （千円）
一　般　会　計	6,592,584	8,489,474	6,518,991	6,783,453
消　防　費	196,839	203,001	194,495	207,012
一般会計に対する消防費の割合	3.0%	2.4%	3.0%	3.1%
町民一人あたりの消防費	40,220円	43,063円	42,878円	47,166円
一世帯当たりの消防費	79,789円	84,338円	82,658円	89,654円

消　防　組　織　機　構

消 防 組 織 機 構

（R7．4．1現在）



消　防　職　員

１．職員の配置数
２．職員の勤続経験年数
３．職員の年齢
４．職員の免許資格取得状況
５．職員の消防学校派遣教育状況

消 防 職 員

（R7．4．1現在）

1．職員の配置数

階級別 / 職・係別	司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	計
署　　長	1						1
次　　長		1					1
主　　幹		3					3
庶　務　係			2			1	3
管　理　係			1			1	2
警　防　係			2		1	1	4
救　急　係			2	1			3
予　防　係			2	1		1	4
危険物係		(1)				1	1 (1)
計	1	4 (1)	9	2	1	5	22 (1)

（ ）内については兼務

2．職員の勤続経験年数

階級別 / 年数別	司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	計
5　年　未　満					1	4	5
5年以上10年未満						1	1
10　〃　15　〃			4	2			6
15　〃　20　〃			2				2
20　〃　25　〃							0
25　〃　30　〃			1				1
30　年　以　上	1	4	2				7
計	1	4	9	2	1	5	22

3．職員の年齢

階級別 / 年齢別	計	司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	計
18歳～20歳	4						4	77
21歳～25歳	1						1	23
26歳～30歳	3				2	1		84
31歳～35歳	3			3				102
36歳～40歳	2			2				74
41歳～45歳	1			1				43
46歳～50歳	4		1	3				196
51歳～55歳	2		2					108
56 歳 以 上	2	1	1					113
計	22	1	4	9	2	1	5	
年　齢　合　計		57	214	365	57	27	100	820
平　均　年　齢		57	53.5	40.6	28.5	27.0	20.0	37.3

4. 職員の免許資格取得状況

区分＼階級別	司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	計
大型自動車１種	1	4	9	2		1	17
中型自動車１種					1		1
大　型　特　殊	1	1	1				3
車両系建設機械運転	1	1	1				3
小型車両系建設機械運転		3	8	2		1	14
第3級陸上無線技士		2	2	2		3	9
危険物取扱者(乙4)	1	2	7	1			11
第1種酸素欠乏危険作業主任者	1	4	9	2			16
刈払機取扱作業者	1	4	9	2		1	17
フルハーネス		4	8	2	1	2	17
安全運転管理者	1						1
消防設備士(甲４)		1					1
消防設備士(乙１)			1				1
消防設備士(乙４)			1				1
消防設備士(乙６)	1	2	1				4
応急手当指導員	1	4	9	2		1	17
防　災　士	1						1
救急救命士		1	8	1			10

5. 職員の消防学校派遣教育状況

人員＼科目別	初任教育課程	予防査察科	危険物科	火災調査科	救助科	救急教育課程Ⅰ	救急教育課程Ⅱ	救急標準課程	ポンプ操法指導員課程	気管挿管講習	薬剤投与講習	救急救命士養成課程	処置拡大２行為講習	ビデオ喉頭鏡講習	計
令和６年度	1							1				1		3	6
現職員累計	20	3	2	2	8	4	4	8	1	1	1	4	9	5	72

消　防　団　員

1. 定数及び実員
2. 団員の配置
3. 団員の勤続年数
4. 団員の年齢
5. 団員の職業別

消 防 団 員

（R7．4．1現在）

1．定数及び実員

階級別 / 定数・実員別	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
定　数	（　階　級　別　定　数　な　し　）							90
実　員	1	3	2	2	7	8	58	81

2．団員の配置

階級別 / 配置別	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
団 本 部	1	3			1	1		6
第１分団			1	1	3	4	38	47
第２分団			1	1	3	3	20	28
計	1	3	2	2	7	8	58	81

3．団員の勤続年数

階級別 / 年数別	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
5年未満							6	6
5年～10年　〃							8	8
10年～15年　〃							9	9
15年～20年　〃							18	18
20年～25年　〃					1	1	10	12
25年～30年　〃			1	1	3	7	5	17
30年以上	1	3	1	1	3		2	11
計	1	3	2	2	7	8	58	81

4. 団員の年齢

階級別 / 年齢別	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計	年齢合計
18歳～20歳								0	0
21歳～25歳							1	1	22
26歳～30歳							3	3	87
31歳～35歳							2	2	65
36歳～40歳							11	11	426
41歳～45歳							17	17	732
46歳～50歳						3	11	14	681
51歳～55歳			1	1	2	2	9	15	791
56歳～60歳				1	2	2	1	6	346
61歳以上	1	3	1		3	1	3	12	771
計	1	3	2	2	7	8	58	81	
年齢合計	70	202	117	111	407	424	2,590		3,921
平均年齢	70	67.3	58.5	55.5	58.1	53	44.7		48.4

5. 団員の職業別

階級別 / 職業別	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
農　　業			1		1	3	22	27
建 設 業 (設備工事業含む)	1			1			6	8
卸売・小売・飲食店		3	1		2	1	5	12
サービス業				1	2	3	14	20
林　　業								0
特殊法人等公務員に準ずる職員					2	1	11	14
そ の 他								
計	1	3	2	2	7	8	58	81

消　防　施　設　概　要

１．消防庁舎及び器具置場、車庫
２．消防水利の現況
３．通信施設
４．消火薬剤及び油処理剤等保有状況
５．消防用ホース保有状況
６．無線呼出し名称
７．消防・救助活動のための機械器具保有状況
８．救急活動のための資器材保有状況
９．消防自動車及び小型ポンプ現有状況

消防施設概要

（R7．3.31現在）

1．消防庁舎及び器具置場、車庫

名所区分	所在地	構造・階数	面　積	竣工年月
今金消防署 消防団本部 第１分団	字今金48番地の1	鉄筋コンクリート	712.99㎡	昭和49年　8月
		2階建	一部増築 298.22㎡	昭和61年10月
第２分団	字種川368番地の1	木造平屋建	74.52㎡	昭和54年12月
	字花石86番地の1	木造平屋建	81.98㎡	昭和56年10月
	字美利河227番地の17	木造平屋建	74.52㎡	昭和56年10月

2．消防水利の現況

種別	消火栓		防火水槽				河川等	濠池等	海湖等	井戸式	合計
	公設	私設	公設		私設						
			40トン以上	40トン未満	40トン以上	40トン未満					
	(123)		36	(3)						(9)	36 (135)

（）は基準外です。

3．通信施設

無線電話		有線電話				
基地局	陸上移動局	火災報知専用電話	携帯専用電話	一般加入電話	ひかり電話	衛星通信電話
1	16	2	1	※　7	2	1

※救急車積載携帯電話含む。

4. 消火薬剤及び油処理剤等保有状況

区分	化学消火剤											油処理剤等				
	空気泡			化学泡		高発泡	界面活性剤		粉末			油処理剤	吸着マット	吸着材	オイルフェンス	吸着フェンス
	たん白系		耐アルコール用	粉末	薬液		クラスA	クラスB	重炭酸ナトリウム	重炭酸カリウム	リン酸塩類等					
	3%	6%														
数量							0.12 Kℓ	1.06 Kℓ				92 ℓ	320 枚	90 kg	30 m	50 m

5. 消防用ホース保有状況

配置別		積載車両及び各分団庫内	消防ポンプ積載 町ノ式 65㎜	消防ポンプ積載 町ノ式 50㎜	消防ポンプ積載 町ノ式 40㎜	予備ホース 町ノ式 65㎜	予備ホース 町ノ式 50㎜	予備ホース 町ノ式 40㎜	計
今金消防署		タンク車	24	14	5		31		74
		大型水槽1	5			22			45
		大型水槽2	18						
消防団	第1分団	ポンプ車 積載車 分団車庫	90			132			222
	第2分団 種川	積載車 分団車庫	23			23			46
	第2分団 花石	積載車 分団車庫	7			15			22
	第2分団 美利河	分団車庫	22						22
合計			189	14	5	192	31		431

6. 無線呼出し名称

基地局	移動局 ・ 携帯局	車　種　別	備　　考
消防光台（呼び出し名称は今金消防）	今 金 タ ン ク　1	水槽付ポンプ自動車	署 タンク車
	今　金　水　槽　1	小型ポンプ付水槽車	署 水槽1車
	今　金　水　槽　2	小型ポンプ付水槽車	署 水槽2車
	今　金　救　急　1	高規格救急車	署 救急1車
	今　金　救　急　2	高規格救急車	署 救急2車
	今　金　指　令　1	指令車	署 指令1車
	今　金　指　令　2	広報車	団 指令2車
	今　金　消　防　1	普通ポンプ車	第1分団 1班車
	今　金　消　防　2	普通ポンプ車	第1分団 2班車
	今　金　消　防　3	小型ポンプ積載車	第1分団 3班車
	種　　川　1	小型ポンプ積載車	第2分団 種川車
	花　　石　1	軽四輪車	第2分団 花石車
	今　金　消　防　701		署 携帯用
	今　金　消　防　702		署 携帯用
	今　金　消　防　703		署 携帯用
	非常今金消防		署

7．消防・救助活動のための機械器具保有状況

器具名		数	商品名・規格等
救助用器具			
鍵付きハシゴ		2	軽合金ハシゴ(アルミ製)
二連ハシゴ		5	軽合金ハシゴ(アルミ製)
三連ハシゴ		2	軽合金ハシゴ(チタン製)
マット型エアージャッキ		2	HLB12　1枚　HLB29　1枚
救助用縛帯		1	ペツル社　PITAGOR
ロープ	100m	1	3打ちナイロン製
	50m	2	3打ちナイロン製
	20m	5	3打ちナイロン製
	100m	2	ザイル製エーデルリット社
	50m	4	ザイル製エーデルリット社
都市型救助資器材		1式	ペツル社
カラビナ		25	
滑車		2	
油圧救助器具		1式	S－150(ウェーバー製)
		1式	ホルマトロ
		1式	オグラ社
エアーツール		1	
スパカッター		1	AN－82
エンジンカッター		1	スチール社 TS410
チェーンソー		1	スチール社 MS241
下肢切創防止用保護衣		1	ハスクバーナー社
フェイスシールド		1	トーアボージン社
鉄線カッター		6	
油圧ジャッキ		2	
チルホール		1	TU－16
ウィンチ		2	WARNウィンチM120
			WARN CIM ウィンチ
ストライカー		2	
レスキューユニット		2	
フルハーネス		5	ペツル社アバオボットファスト
			欧州バージョン　C071BA
ショックアブソーバー		5	ペツル社アブソービカ-I
4ポイント・ブライドル		1	FERNO社モデル418－1
空気呼吸器		12	
空気呼吸器用ボンベ		30	
可燃性ガス測定器		1	理研GX－3R　TYPE A
スリングベルト		8	1．6t級　3m・5m
			2．5t級　3m・5m

器具名		数	商品名・規格等
消火用器具			
ラインプロポーショナー		2	
エアーフォームノズル		2	
発泡器(ネット)		1	東消式発泡器
無反動管鎗		3	
アプリケーターノズル		1	50mm回転アプリケーター
フォグガン		1	TS－200
エコファイターノズル		1	
クアドラフォグノズル		2	NH－50QF
ジェットシューター		26	ジェットシューター、ファイヤーレンジャー
ウォーターチャージャー		1	
ホース	65mm	381	
	50mm	45	
	40mm	5	
組立水槽		5	角形(2,500)、丸形(3,000、500)
化学消火薬剤		6	ミラクルフォームα＋、マルチA
		53	スーパーフォーム
その他			
投光器		16	バルーン投光器　１機
			可搬式投光器　１２機
			電動伸縮式投光器　２機
			手動伸縮式投光器　１機
発電機		10	ＥＵ９ｉ　４機
			ＥＵ１６ｉ　１機
			ＥＵ１８ｉ　２機
			ＥＵ２８ｉｓ　１機
			ＥＢ－１５００Ｘ　１機
			ＥＸ－４０００　１機
GPSナビゲーション		3	ガーミンHCX
風速計		1	マイゾックスAM－4220
送排風機		1	
張力計		1	ダイナホール1．25tデジタル式
救命胴衣		83	
自動体外式除細動器		2	カルジオライフ AED-3100
			カルジオライフ AED-3151

８．救急活動のための資器材保有状況

資器材名	数	商品名・規格等
搬送用資器材		
メインストレッチャー	2	モンディアルST７０-Ｊ・ＲＳ－Ｊ
		GT-06
スクープストレッチャー	2	６５EXL
バックボード	2	ＦＥＲＮＯ製ハイテクバックボード一式
バスケットストレッチャー	1	FERNO製　モデル７１
布担架	2	ムラカミ式
エアストレッチャー	1	ＣＹＧ－０６Ｔ
観察用資器材		
救急モニター	1	日本光電
血圧計	4	アネロイド、デジタル
体温計	5	腋窩、非接触型
血中酸素飽和度測定器	2	ＯＸ－１０１
聴診器	4	
喉頭鏡セット	2	
検眼ライト	2	
血糖値測定器	2	グルコカード　プライム
呼吸管理用資器材		
流量計付加湿酸素吸入器	2	
携帯用酸素吸入器	2	
酸素ボンベ	8	２．０(リットル)
	8	９．４(リットル)
バックマスク	4	成人用、小児用
心肺蘇生用背板	2	
電動式吸引器	2	車載定置型
	2	レールダル製吸引器
経鼻エアウェイ	1式	
経口エアウェイ	1式	
開口器	4	エスマルヒ氏、ハイステル氏
マギール鉗子	4	大、小
ラリンゲルチューブ	1式	
気管挿管チューブ	1式	
人工呼吸器	1	パラパック　２００Ｄ
ＣＯ２センサーキット	1式	ＴＧ－９００Ｐ
ビデオ硬性喉頭鏡	1式	エアウェイスコープ

資器材名	数	商品名・規格等
固定・止血用資器材		
減圧式固定器具	2	バキュームスプリント（全身用、患部用）
頸椎カラー	8	スティフネック（成人用、小児用）
ヘッドイモビライザー	2	
ＫＥＤ	1	FERNO製
ペディパック	1	小児用
スピードスプリント	1式	
止血帯	4	ターニケット
三角巾	1式	
救急包帯	1式	
滅菌ガーゼ	1式	
サージカルパット	1式	トランスーム
その他の資器材		
自動式心肺蘇生器	1	ＬＵＣＡＳ３
半自動式除細動器	1	ＴＥＣ－２６０３
	1	ＺＯＬＬ・Ｘ－Ｓｅｒｉｅｓ
自動体外式除細動器	1	カルジオライフＡＥＤ－２１５２
静脈留置針	1式	スーパーキャス５
輸液セット	1式	ニプロ輸液セット
乳酸リンゲル液	1式	ラクテック
アドレナリン	1式	
ブドウ糖	1式	
受水盆	2	
アイシングキット	2	
リングカッター	2	
アルミックシート	1式	

9. 消防自動車及び小型ポンプ現有状況

区分／所属		年式	経過年数	消防自動車等の種類	メーカー シャシ	馬力	ポンプ 製作所 形式	ポンプ 級別	ポンプ 最大放水量	水槽容量(ℓ)	特殊装備
今金消防署		2018	7	水槽付ポンプ自動車Ⅱ型	日野 プロフィア	380	MORITA 高圧1段ボリュート式水ポンプ	A2	水2,456 泡3,800	5,000	圧縮空気泡消火装置(CAFS)、昇降式LED照明灯、ウィンチ5t 油圧式積載梯子昇降装置、油圧式救助器具、空気式救助器具 鍵付き梯子、三連梯子、送排風機、空気呼吸器
		2012	12	高規格救急車	トヨタ ハイメディック	151					磁気浮上式防振ベッド、スクープストレッチャー、バックボード、KED 小児用ペディパック、酸素吸入器(ボンベ2)、携帯酸素蘇生器 心電図モニター、半自動式除細動器、ドライブレコーダー マジックギプス(全身用、患部用)、ストライカー(破壊器具)
		2016	8	高規格救急車	トヨタ ハイエース	151					ダンパー式防振ベッド、スクープストレッチャー、バックボード モニタリング機能付除細動器、人工呼吸器、酸素吸入器(ボンベ2) 携帯酸素蘇生器、マジックギプス(全身用、患部用) 自動式心マッサージ器、対刃防護服、ビデオ硬性喉頭鏡 エアストレッチャー、ストライカー(破壊器具)、ドライブレコーダー
		2020	4	指令車	トヨタ ハイエース	160					
		1993	31	小型ポンプ付水槽車Ⅱ型	ミツビシ フソウ	335	TOHATSU 片吸込高圧1段タービンポンプ	B2	1,000	10,000	空気呼吸器、発電機、投光器(500Wハロゲン)
		2000	24	小型ポンプ付水槽車Ⅱ型	イスズ	340	TOHATSU 片吸込1段タービンポンプ	B2	1,290	10,000	空気呼吸器、投光器(メタルハライドランプ) セルプラポンプ付
		2023	2	運搬車	ダイハツ ハイゼット	46					
今金町消防団	第1分団	1999	25	普通ポンプ車CD－Ⅱ型	イスズ フォワード	225	MORITA 二段バランスタービンポンプ	A2	2,200		吸管巻き取り装置、投光器(メタルハライドランプ)
		1996	29	普通ポンプ車CD－Ⅱ型	イスズ フォワード	210	MORITA 二段バランスタービンポンプ	A2	2,380		空気呼吸器、空気ボンベ(予)、油圧救助器具 リモコン式照明器
		1994	30	小型ポンプ付積載車	ミツビシ キャンター	140	TOHATSU 片吸込高圧1段タービンポンプ	B2	1,000		
		2023	2	広報車	ミツビシ エクリプスクロス	149					
	第2分団	1998	27	小型ポンプ付積載車	ミツビシ キャンター	140	TOHATSU 片吸込1段タービンポンプ	B2	1,280		
		2009	15	軽四輪車	スズキ エブリイ	49					

消　防　活　動　状　況

消防活動状況　　（R6. 1. 1 ～ 12.31）

区分 / 種別	出動件数		出動人員			出動車両		
	署	団	署	団	計	署	団	計
火災	0		0		0	0		0
救急	199		560		560	199		199
ドクターヘリ支援活動	11		21		21	10		10
救助	0		0		0	0		0
風水害	0		0		0	0		0
警戒	0	1	0	68	68	1	2	3
捜索	1		6		6	1		1
原因調査	0		0		0	0		0
職員訓練	81	1	293	4	297	24	4	28
演習訓練	6	26	40	328	368	5	14	19
警防活動	119		279		279	70	17	87
予防	123		238		238	14	102	116
査察	156	7	195	75	270	22	71	93
火災予防広報	20	4	28	15	43	17	8	25
大会	0		0		0	0		0
出初式	1	1	12	65	77	1	5	6
巡回パトロール	173		198		198	140	33	173
その他	38		297		297	55	3	58
計	928	40	2,167	555	2,722	559	259	818

火　災　統　計

１．火災概況
２．過去５年間の火災発生状況
３．過去５年間の原因別火災発生状況
４．火災発生状況

火 災 統 計

（R6．1．1 ～ 12.31）

１．火災概況

区　分	内　　容	計
火災件数	建物火災 車両火災 その他火災	０件
焼損棟数	全焼 半焼 部分焼 ぼや	０棟
焼損面積	全焼 半焼 部分焼 ぼや	０㎡
	林野火災	０ a
	火災１件当り　建　物	０㎡
	林　野	０ａ
罹災世帯数	全損 半損 小損	０件
罹災者数	全損 半損 小損	０人
損害見積額	建物 内容物 林野 車両 その他	０千円
	火災１件当り	０千円
	町民１人当り　（人　口　４，４４４　）	０円
	１世帯当り　（世帯数　２，３４１　）	０円

※ 小数点以下第１位を四捨五入とする。

2. 過去5年間の火災発生状況

（各年12.31現在）

	人口	世帯数	火災件数					死傷者		損害面積			損害見積額（千円）	損害見積額		
			計	建物	林野	車両	その他	死者	負傷者	建物（㎡）		林野（a）		火災1件当り（千円）	1世帯当り（円）	人口1人当り（円）
										焼損床面積	焼損表面積					
令和２年	5,054	2,497	2	1			1			66			1,429	715	572	283
令和３年	4,963	2,490	2	2						201			13,110	6,555	5,265	2,642
令和４年	4,775	2,424	3	2		1				23	3		1,073	358	443	225
令和５年	4,623	2,387	1	1					1		1		25	25	10	5
令和６年	4,444	2,341	0										0			
計			8	6	0	1	1	0	1	290	4	0	15,637			

3. 過去5年間の原因別火災発生状況

（各年12.31現在）

	火のついたゴミ	（野焼き等）裸火	蓄電池	配線器具	電灯電話等の配線	煙道	火花	溶接機・切断機	自然発火	不調査中明	計
令和２年								1	1		2
令和３年				1						1	2
令和４年	1		1		1						3
令和５年				1							1
令和６年											0
計	1	0	1	2	1	0	0	1	1	1	8

４．火災発生状況　　（R6．1．1 ～ 12.31）

区分／月日	覚知時刻及び方法	種別	出火箇所及び用途	出火原因	程度	損害面積			損害見積額					焼損棟数				罹災世帯数			罹災者数	出動人員		出動車両		死者	負傷者数
						建物		林野	建物	内容物	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損		署	団	署	団		
						焼損床面積（㎡）	焼損表面積（㎡）	(a)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)														
計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

救　急　統　計

１．過去５年間の事故種別出動件数
２．時間別救急出動件数
３．現場到着所要時間別救急出動件数
４．収容所要時間別救急搬送人員
５．管内・管外別搬送人員
６．発生場所別搬送人員
７．事故種別不搬送理由別不搬送件数
８．病院別転院搬送件数
９．ドクターヘリ要請件数
１０．年齢別・傷病別搬送人員
１１．月別・事故種別出動件数
１２．曜日別救急出動件数

救急統計

１．過去５年間の事故種別出動件数　　（各年 1．1～12.31）

事故種別 / 年	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計
											転院搬送	その他	
令和　２年				9	1		23			124	67	4	228
令和　３年				5	2		28		2	117	64	16	234
令和　４年				6	3		31			113	59	4	216
令和　５年				16	3		26		1	150	98	1	295
令和　６年				5	5		40		1	90	55	3	199
合　計				41	14		148		4	594	343	28	1,172

２．時間別救急出動件数　　（R6. 1. 1 ～ 12.31）

時間別 / 件数	0:00～1:59	2:00～3:59	4:00～5:59	6:00～7:59	8:00～9:59	10:00～11:59	12:00～13:59	14:00～15:59	16:00～17:59	18:00～19:59	20:00～21:59	22:00～23:59	合計
出動件数	8	5	3	14	31	28	27	17	23	22	10	11	199

３．現場到着所要時間別救急出動件数

現着時間 / 事故種別	３分未満	３分以上 ５分未満	５分以上 １０分未満	１０分以上 ２０分未満	２０分以上	合　　計	現場到着平均 所要時間(分)
急　　病	19	34	20	14	3	90	6.0
交通事故		2	1	1	1	5	9.8
一般負傷	14	17	5	4		40	4.7
そ の 他	44	12	4	3	1	64	4.4
合　　計	77	65	30	22	5	199	

４．収容所要時間別救急搬送人員

収容所要時間 / 事故種別	１０分未満	１０分以上 ２０分未満	２０分以上 ３０分未満	３０分以上 ６０分未満	６０分以上 １２０分未満	１２０分以上	合　　計	収容平均 所要時間(分)
急　　病		3	36	41	6		86	34.8
交通事故			2	1	1		4	38.5
一般負傷		7	15	15	1		38	30.0
その他			3	7	19	31	60	103.6
合　　計		10	56	64	27	31	188	

５．管内・管外別搬送人員

区分＼事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
管内				4	3		37			78	55	177
管外					2		1			8		11
その他												
合計				4	5		38			86	55	188

※「管内」とは管内に住所を有している者
※「管外」とは管外に住所を有している者
※「その他」とは外国人旅行者、又は住所が判明しない者等

６．発生場所別搬送人員

種別＼発生場所	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他	合計
急病	62	16	4	5		87
交通事故				4		4
一般負傷	19	10		9		38
その他		56	4			60
合計	81	82	8	18		189

※「住宅」とは一般住宅等住居としている場所（居室・廊下,通路・階段・便所・浴室・台所・屋根,屋上・庭・車庫等）
※「公衆出入場所」とは多数の人が集まる場所（遊技場・飲食店・店舗・宿泊所・病院・老人ホーム・学校・公衆浴場・寺社教会・運動競技場等）
※「仕事場」とは仕事をしている場所（工場・事務所・工事現場・倉庫等）
※「道路」とは一般道路・歩道・歩道橋等
※「その他」とは上記以外の場所（公園・広場・空地・河・池・山林・原野・農地等）

7．事故種別不搬送理由別不搬送件数

事故種別 / 理由	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計
											転院搬送	その他	
緊急性なし										1		1	2
傷病者なし				1									1
拒否							2						2
酪酊													
死亡									1	3			4
現場処置													
誤報・いたずら												2	2
その他													
合計				1			2		1	4		3	11

8．病院別転院搬送件数

合計	市立函館病院	函館脳神経外科病院	八雲総合病院	函館中央病院	函館五稜郭病院	函館新都市病院	函館医師会病院	道南ロイヤル病院	共愛会病院	函館渡辺病院	国立病院機構函館病院	せたな町立保健病院
49	11	8	13	4	6	4	2				1	
内、ドクヘリ	1	2		1	1		1					

9．ドクターヘリ要請件数

要請件数	搬送件数	キャンセル件数 ※
11 件	10 件　（救急現場出動　4 件、施設間搬送　6 件）	1 件

※　天候不良（最初からフライト無し・途中引き返し）及び別件出動中（重複要請）によるもの。

１０．年齢別・傷病別搬送人員

区分＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症												
	その他												
	計												
乳幼児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症							1					1
	その他												
	計							1					1
少年	死亡												
	重症							1				1	2
	中等症												
	軽症										2		2
	その他												
	計							1			2	1	4
成人	死亡												
	重症				1							1	2
	中等症							1			4	3	8
	軽症				1	3		5			11	2	22
	その他												
	計				2	3		6			15	6	32
高齢者	死亡										3		3
	重症							3			11	20	34
	中等症				1	1		16			41	26	85
	軽症				1	1		11			14	2	29
	その他												
	計				2	2		30			69	48	151
合計	死亡										3		3
	重症				1			4			11	22	38
	中等症				1	1		17			45	29	93
	軽症				2	4		17			27	4	54
	その他												
	計				4	5		38			86	55	188

※新生児…生後２８日未満の者
※乳幼児…生後２８日以上７歳未満の者
※少年…７歳以上１８歳未満の者
※成人…１８歳以上６５歳未満の者
※高齢者…６５歳以上の者

１１．月別・事故種別出動件数

事故種別 / 月別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計
											転院搬送	その他	
１月							8			5	3		16
２月				1			3			7	2		13
３月					1		2			4	5		12
４月							2			7	7		16
５月							2			10	7		19
６月				1			2			9	7	1	20
７月				1	1		2			9	5		18
８月				1	1		1			7	3	1	14
９月					1		5			4	1	1	12
１０月				1	1		6			3	4		15
１１月							2		1	8	6		17
１２月							5			17	5		27
合計				5	5		40		1	90	55	3	199

１２．曜日別救急出動件数

事故種別 / 区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計
												転院搬送	その他	
曜日別	日				1			6			7	4		18
	月					1		8		1	18	12		40
	火					2		5			21	17		45
	水					1		5			11	7		24
	木				2	1		6			10	7		26
	金				1			3			14	4		22
	土				1			7			9	4	3	24
合計					5	5		40		1	90	55	3	199

予　防　活　動

1. 事務処理状況
2. 指定防火対象物数
3. 用途別、月別建築同意状況
4. 工事別、月別建築同意状況
5. 指定防火対象物立入検査実施状況
6. 一般家庭防火査察実施状況
7. 危険物製造所等の分布状況
8. 危険物施設立入検査実施状況
9. 消防協力団体の概況

予 防 活 動

（R7．3.31現在）

1．事務処理状況

届　出　事　務　処　理		令和5年度	令和6年度
消防法（規則）	消防計画作成(変更)届	14	11
	防火管理者選任届	9	8
	防火管理者解任届	9	8
	防火対象物点検結果報告書	2	2
	防火対象物点検報告特例認定申請	4	1
	管理権原者変更届		
	消防用設備等設置届	13	16
	消防用設備等点検結果報告	289	284
	消防用設備等検査済証交付	13	16
	消防用設備等着工届	2	
火災予防条例（規則）	防火管理者資格取得講習修了証再発行申請		
	共同防火管理協議事項(変更)届		
	消防用指定水利(変更・撤去・不能)届		
	消防用設備等設置計画届	8	16
	禁止行為の解除承認申請		
	防火対象物使用開始(変更)届	1	2
	防火対象物使用開始(変更)検査済証交付	1	2
	炉・暖房・ボイラー・給湯等設置届	1	2
	発電・変電・蓄電設備設置届		7
	ネオン管灯設備(変更)届		
	水素ガスを充てんする気球の設置届		
	火災とまぎらわしい煙・火炎を発する恐れのある行為の届	11	9
	煙火打上げ・仕掛け届	3	2
	催物開催届		
	水道断水・減水届		
	道路工事届	24	19
	ストーブ・煙突の取付掃除業届		
	煙突取付・掃除業届出済証交付		
	液体燃料燃焼機器の分解掃除整備業届		
	燃焼機器分解掃除・整備業届出済証交付		
	消防用設備等販売工事整備業届		
	露店等の開設届	8	8
	消防設備工事・整備・販売業届出済証		
	指定洞道等(新規・変更)届		
	少量危険物貯蔵・指定可燃物取扱届出	14	14
	少量危険物貯蔵・指定可燃物廃止届出	9	8
事務処理規程	立入検査結果通知書交付	256	248
	改善(計画)報告	19	30
	勧告書		
	建築確認等申請の同意(通知を除く)	1	3
	消防用設備等及びその他必要事項通知		1
	不同意返却理由通知		
	LPG販売事業許可申請意見書交付		
	旅館業等営業許可申請に係る消防法令適合通知書		
計		711	717

2. 指定防火対象物数

区分 / 防火対象物区分		消防法第１７条で指定するもの	条例で指定するもの	計	消防法第8条で定めるもの		防火管理者の選任状況		消防計画の届出状況	
					甲	乙	甲	乙	甲	乙
1	イ. 劇場、映画館 ロ. 公会堂、集会場	11		11	11		11		11	
2	イ. キャバレー、カフェー ロ. 遊技場、ダンスホール	1		1	1		1		1	
3	イ. 待合、料理店 ロ. 飲食店	15		15	5	4	5	4	5	4
4	百貨店マーケットその他物品販売を営む店舗又は展示場	4		4	4		4		4	
5	イ. 旅館、ホテル、宿泊所	6		6	4		4		4	
	ロ. 寄宿舎、下宿、共同住宅	7		7						
6	イ. 病院、診療所、助産所	1		1						
	ロ. 養護施設、児童福祉施設 身体障害者施設	5		5	5		5		5	
	ハ. 保育所、共同生活援助	10		10	5		5		5	
	ニ. 幼稚園、養護学校	1		1	1		1		1	
7	小学校、中学校、高等学校 その他の学校	3		3	2		2		2	
8	博物館、美術館	1		1		1		1		1
9	ロ. 公衆浴場	2		2	1	1	1	1	1	1
11	神社、寺院、教会	5		5	3	2	3	2	3	2
12	イ. 工場、作業場	5		5	1		1		1	
13	イ. 自動車車庫、駐車場	2		2						
14	倉庫	13		13						
15	前各号に該当しない事業所	13		13	7	1	7	1	7	1
16	イ. 複合(特定を含む)	11		11	8		8		8	
	ロ. 複合(非特定のみ)	0		0						
合計		116		116	58	9	58	9	58	9

３．用途別、月別建築同意状況

月別 / 用途別	計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
事務所	2			1									1
物置	1			1									
工場	1											1	
合計	4			2								1	1

４．工事別、月別建築同意状況

	同意件数	延面積	工事別						構造別			階数別			
			新築 件、面積	増築 件、面積	改築 件、面積	修繕 件、面積	模様替え 件、面積	用途変更 件、面積	耐火 件、面積	準耐火 件、面積	木造、その他 件、面積	1階	2階	3階	4階
4月															
5月															
6月	2	615.62 ㎡	2 件 615.62 ㎡								2 件 615.62 ㎡	1	1		
7月															
8月															
9月															
10月															
11月															
12月															
1月															
2月	1	0.00 ㎡	1 件 0.00 ㎡						1 件 0.00 ㎡			1			
3月	1	0.00 ㎡	※ 1 件 0.00 ㎡								1 件 0.00 ㎡		1		
計	4	615.62 ㎡	4 件 615.62 ㎡						1 件 0.00 ㎡		3 件 615.62 ㎡	2	2		

※計画変更含む。

5. 指定防火対象物立入検査実施状況

(R6. 4. 1 ～ R7. 3.31)

区分 / 項別			指定防火対象物数	立入検査実施回数	指摘延べ件数	注意及び改善指示事項内容											
						防火管理	避難訓練	防炎物品	設備点検	定期点検	少量危険物	電気設備	火気設備	消火設備	警報設備	避難設備	その他
1	イ	劇場、映画館															
	ロ	公会堂、集会場	11	22	5											5	
2	イ	キャバレー、カフェー															
	ロ	遊技場	1	2	0												
	ハ	性風俗関連特殊営業															
	ニ	カラオケボックス															
3	イ	待合、料理店															
	ロ	飲食店	15	20	2										2		
4		店舗	4	8	12	1	2				2			2	3	2	
5	イ	旅館、ホテル	6	11	2											2	
	ロ	共同住宅	7	7	0												
6	イ	病院	1	2	1											1	
	ロ	老人ホーム(要介護)	5	8	0												
	ハ	保育所、共同生活援助	10	18	4				1		1					2	
	ニ	幼稚園、養護学校	1	2	2									2			
7		学校	3	3	0												
8		博物館、美術館	1	1	0												
9	ロ	公衆浴場	2	2	0												
11		寺院、神社	5	5	1						1						
12	イ	工場、作業場	5	5	1											1	
13	イ	自動車車庫、駐車場	2	2	0												
14		倉庫	13	13	0												
15		官公署、事務所	13	13	0												
16	イ	複合(特定を含む)	11	20	4										2	2	
	ロ	複合(非特定のみ)															
計			116	164	34	1	2	0	1	0	4	0	0	4	7	15	0

6．一般家庭防火査察実施状況　　（R6．4．1 ～ R7．3.31）

	査察実施数	2,399
	指摘棟数	58
	注意及び改善指示事項	指摘箇所数
暖房設備	ストーブ周囲の整理整頓	
	ストーブ設置位置の不適	
	暖房器具の破損したもの	
	ストーブ台の不適	
煙突設備	煙突の破損、亀裂、フタなし	14
	煙突の取付固定不完全	1
	天井壁等距離及び周囲可燃物	
	屋外軒窓等距離不適	
めがね石	めがね石設備がないもの	
	めがね石の代わりに鉄板使用のもの	
	めがね石破損、亀裂	
	めがね石厚さ不適	
	可燃物の接近しているもの	
	取付不完全	
ボイラー	構造、設備不適	
	ボイラー室及び排煙設備不適	
暖房以外の火気設備	ガス湯沸器上方距離不適	
	ガス湯沸器壁柱との間隔不適	
	ガス湯沸器の排気不適	
	コンロ台上方側方後方距離不適	
	コンロ台の構造不適	
	LPGホース亀裂、不備	
	LPGの配管の不適	
	LPG一室に10kg以上置いてあるもの	
	屋外LPGの容器位置及び固定方法不適	15
電気設備	たこ足配線	
	配線、コード不良	
	器具の破損不良	
少量危険物	取扱の不適	
	貯蔵場所及び貯蔵方法不適	
	ホームタンクの設置状況不適	31
風呂	煙突の破損、亀裂	
	めがね石は破損していないか	
	カマ周囲の整理はどうか	
その他	支わくの不適	
計		61

7. 危険物製造所等の分布状況

区分 / 製造所等の別		施設数	類別	品名	貯蔵数量（単位:ﾘｯﾄﾙ）	倍数
貯蔵所	屋内貯蔵所	1	第1石油類	シンナー、塗料類	3,000	15
			第2石油類	シンナー、塗料類	5,000	5
			第3石油類	塗料類	6,000	3
			第4石油類	オイル類	6,000	1
			アルコール類	アルコール類	400	1
	屋外タンク貯蔵所	3	第2石油類	灯油	95,000	95
			第3石油類	重油	23,000	11.5
	地下タンク貯蔵所	10	第2石油類	灯油、軽油	396,000	396
			第3石油類	重油、廃油	123,700	61.85
	移動タンク貯蔵所	16	第2石油類	灯油、軽油	63,150	63.15
			第3石油類	重油	1,000	0.5
取扱所	給油取扱所	6	第1石油類	ガソリン	68,480	342.4
			第2石油類	灯油、軽油、ジェット燃料	154,220	154.22
			第4石油類	オイル類	4,600	0.77
	一般取扱所	7	第2石油類	灯油	14,600	14.6
			第3石油類	重油	9,600	4.8
計			第1石油類	ガソリン、シンナー、塗料類	71,480	357.4
			第2石油類	灯油、軽油、ジェット燃料、シンナー、塗料類	727,970	727.97
			第3石油類	重油、塗料類、廃油	163,300	81.65
			第4石油類	オイル類	10,600	1.77
			アルコール類	アルコール類	400	1
合計		43			973,750	1,169.79

8. 危険物施設立入検査実施状況　　（R6. 4. 1 ～ R7. 3.31）

項目／区分	実施施設数	休止施設数	立入検査延べ回数	違反延べ件数	違反内容内訳			
					貯蔵又は取扱いの技術上の基準違反	位置、構造及び設備の技術上の基準違反	危険物取扱者講習義務違反	定期点検の実施、定期点検記録簿作成及び保存義務違反
屋内貯蔵所	1		2					
屋外タンク貯蔵所	3		6	3		3		
地下タンク貯蔵所	9	1	18					
移動タンク貯蔵所	17		31	4		2		2
給油取扱所	6		12	1		1		
一般取扱所	7		14	1				1
計	43	1	83	9	0	6	0	3

9. 消防協力団体の概況

(1) 今金町女性防火クラブ　　(R7. 4. 1現在)

名　　称	会員数	設 立 年 月 日
今　金　支　部	1,456	昭和42年 5月 2日
種　川　支　部	133	昭和42年 7月 6日
日　進　支　部	6	昭和47年10月 3日
八　束　支　部	85	昭和47年12月11日
神　丘　支　部	84	昭和54年12月 8日
金　原　支　部	67	昭和55年 1月20日
田　代　支　部	51	平成14年 8月 1日
豊　田　支　部	17	平成27年 3月 1日

(2) 防火協力団体　　(R7. 4. 1現在)

名　　称	会員数	設 立 年 月 日
今金町危険物安全協会	17	昭和63年 6月13日

今　金　町　の　お　も　な　火　災

今金町のおもな火災

○　大正 8年 8月 2日　　工場から出火、５戸全焼

○　大正15年10月 9日　　一般住宅から出火、３戸全焼、死者２名

○　昭和 3年 7月19日　　商店から出火、１６戸全焼、死者１名

○　昭和13年 1月14日　　一般住宅から出火、３戸全焼

○　昭和21年12月29日　　一般住宅から出火、３戸全焼

○　昭和24年 3月 8日　　一般住宅から出火、３戸全焼

○　昭和27年 5月 9日　　山火事発生、同月２０日までの間に国有・民有林4,200町歩焼失、損害額2,795万円

○　昭和37年 1月 6日　　工場全焼、617㎡焼失

○　昭和43年 2月24日　　アパート全焼、348㎡焼失、死者１名

○　昭和44年 2月23日　　神丘小学校全焼

○　昭和50年 2月22日　　八束小学校全焼

○　昭和58年 5月18日　　商店より出火、３棟全焼、１棟半焼、454㎡焼失

○　平成 3年12月17日　　作業所より出火、２棟全焼、966㎡焼失

○　平成13年11月 8日　　作業場併用住宅より出火、死者1名

○　平成23年 4月 1日　　住宅より出火、死者１名

○　平成25年11月20日　　養畜舎より出火、全焼、755㎡焼失

○　平成27年 5月11日　　原野より出火、原野及び山林27,500㎡焼失

○　平成29年 2月 9日　　住宅より出火、死者１名